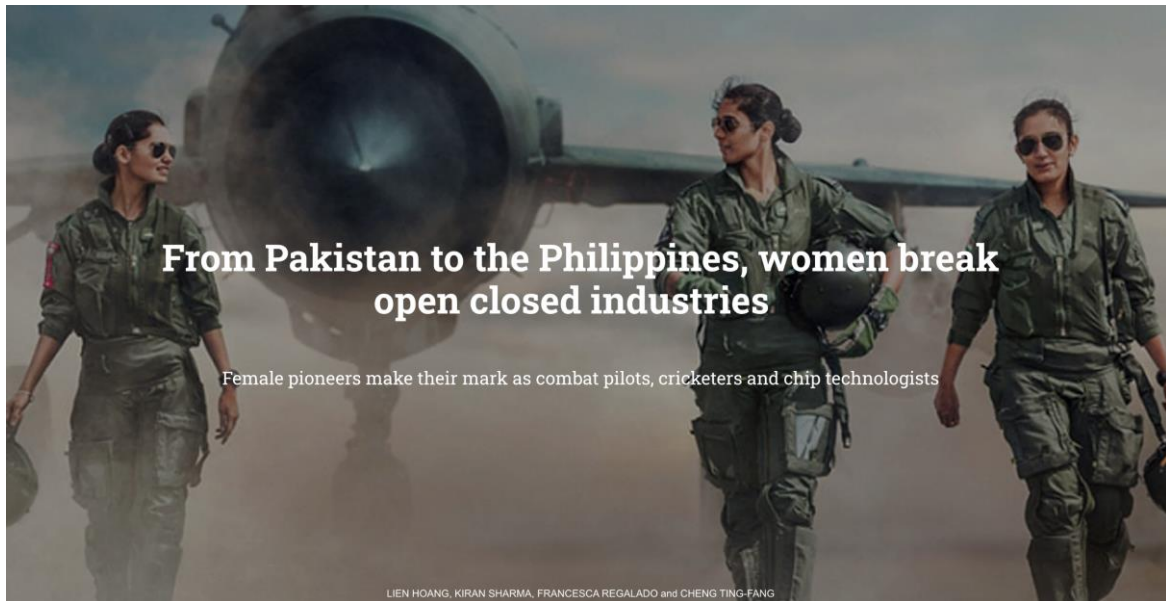


Nikkei Asia、アジア出版者協会賞で最優秀賞 女性テーマ部門 グローバル枠は日本初



日本経済新聞社の英文媒体「Nikkei Asia」(<https://asia.nikkei.com/>) は15日、香港を拠点とするアジア出版者協会(SOPA)の2023年協会賞の女性テーマ部門で最優秀賞と優秀賞を獲得しました。欧米の主要メディアが参加する「グローバル」枠での最優秀賞受賞は、日本メディアで初めてです。

最優秀賞を受賞したのは、22年12月にホーチミン駐在のリエン・ホアン記者らが「閉鎖的な業界を切り開く女性たち」(<https://asia.nikkei.com/Spotlight/Women-s-Wealth/From-Pakistan-to-the-Philippines-women-break-open-closed-industries>) の見出しなどで報じた一連の特集記事。アジア各国の女性が、長く男性の職業とされていた戦闘機パイロットや半導体技術者などとして第一線で活躍し、豊かさを手にする姿を動画や多彩なグラフィックスを交えてビジュアルに描いた記事です。SOPAは受賞理由として「デジタルツールを活用した革新的な手法でニュースを届けた」と評しました。

22年6月にジャカルタ支局のイスマ・ダマヤンティ記者らアジア各支局の記者が「アジアの中絶問題/限られた選択」(<https://asia.nikkei.com/Spotlight/The-Big-Story/Abortion-in-Asia-The-limits-of-choice>) の見出しで報じた特集記事も優秀賞を受賞しました。人工妊娠中絶の是非が表立って議論されないアジア各国で、望まない妊娠をした女性が直面する厳しい現実を、当事者や医療関係者などへの豊富な取材で浮かび上がらせました。

SOPA 賞はアジア太平洋地域に関する優れた報道を表彰するため 1999 年に創設されました。今回の選考対象は 2022 年に公開された記事で、メディアの展開地域や言語に応じて英語のグローバルとリージョナル（地域）、中国語などの枠があります。Nikkei Asia は 21 年からグローバル枠で参加し、22 年に評論部門で優秀賞を受賞しています。

受賞について中山真 Nikkei Asia 編集長は「欧米の主要メディアを抑えて女性テーマ部門で最優秀賞と優秀賞をダブル受賞したことはグローバルメディアを目指してきた Nikkei Asia にとって画期的な成果だと受け止めています。受賞した 2 つの作品にはアジア各支局・拠点の多くの記者が関わっており、Nikkei Asia がアジアに張り巡らせた取材網の強さを示すことができました。今後も質の高い報道を続けるために努力を重ねていきます。」と述べました。

〈Nikkei Asia について〉

成長著しいアジアの政治・経済・文化の実像を、アジアに拠点を置く日本経済新聞ならではの視点で発信する英文メディアです。世界中のリーダーをはじめ、アジアの未来を担う世代、アジアに関心のある人のために、独自の取材で深掘りした記事や日経の翻訳記事、専門家の寄稿などをウェブサイトや雑誌で提供しています。これまで SOPA 賞をはじめ、数々の国際的なメディア賞を受賞しています。

日本経済新聞社について

日本経済新聞社は 1876 年以来、140 年にわたってビジネスパーソンに価値ある情報を伝えてきました。約 1500 人の記者が日々、ニュースを取材・執筆しています。主力媒体である「日本経済新聞」の販売部数は 164 万部、2010 年 3 月に創刊した「日本経済新聞 電子版」をはじめとするデジタル有料購読数は 99 万で、有料・無料登録を合わせた会員数は 610 万を上回っています。

本件に対する問い合わせ

日本経済新聞社 広報室 TEL:(03)3270-0251 (代表)